

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会に加入することで、会合に入居者と共に参加している。ホーム便りを回覧板と一緒に回して頂くことで認知症に対する理解のきっかけづくりを行い、地域行事の敬老会、祭り、運動会に積極的に参加している。玄関の花の手入れの協力があつたり、室内犬を連れて気軽に遊びに来てくれるなど、地域とのつながりを大切にしている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取り組み（外部評価項目：3）	評価
	会議には入居者家族全員に参加のお願いをしている。入居者家族、介護保険課担当者、医師会、地域包括支援センター担当者、職員等で開催を行い、平日から土曜日に開催日を変更することで、家族の参加が多くなるよう努めている。質問の声も多く有意義な会に発展している。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市主催の勉強会やイベントに参加している。毎月ホーム便りを届けたり、入居困難な方の相談にのっていただくことで解決ができた事例もある。ホーム側として市との協力で地域の方に認知症を知っていただく勉強会を開きたいと検討をしている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	年4回の家族会にて家族同士の意見交換が行われている。毎月のホーム便りに生活ぶりが紹介され、安心しながらも介護度が高くなった時の受け入れ先の心配の声がある。ホームより母体が多く介護施設を擁する社会福祉法人である説明を受けることで安心感がある。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「ここは暖かな時が流れるもう一つの我が家です」とあるように、穏やかな時間を共有しながら毎日を過ごしている。昼食後の約1時間の楽しいおしゃべり、毎月の俳句を皆で考え習字の得意な入居者の達筆な筆での作品が壁に掲示してある。今までの地域との関わりを大事にしながら、新しい地域との関わりを築き、近隣の喫茶店やスーパーの買い物に出かけたり、近所付き合いを大切に地域に溶け込んでいる。母体が多く介護施設経営をしていることで、研修会や勉強会が多く、職員の介護の質や知識の向上につながっている。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。